

2024～2025年度

第1回キャビネット会議 議事録

2024. 7. 20(土) 於：TKPガーデンシティ千葉
(THE QUBE HOTEL CHIBA内)

第106回国際大会報告書

(オーストラリア・メルボルン 2024年6月21日～6月25日)



We Serve



青少年と歩む **道**
～ Together We Serve ～

ライオンズクラブ国際協会

333-C地区

第1回キャビネット会議 議事録

期 日：2024年7月20日(土) 13:50~17:30

場 所：TKPガーデンシティ千葉 (THE QUBE HOTEL CHIBA内)

出席者：キャビネット構成員等136名中110名出席、内投票権のあるキャビネット構成員48名中44名の出席

《地区ガバナー提出議案と審議結果》

第1号議案 キャビネット構成員等任命の件

全会一致により可決

第2号議案 キャビネット会議・付属会議とその議事規則の確認の件

全会一致により可決

第3号議案 前年度会計決算報告の件

決算報告書

I. 一般会計

II. 年次大会会計

III. 青少年育成資金会計

IV. 地区緊急災害支援センター会計

V. 千葉県ライオンズクラブ子ども食堂支援基金会計

貸借対照表

財産目録

財産目録別表

全会一致により可決

第4号議案 会計監査報告の件

全会一致により可決

第5号議案 地区ガバナー提出議案審議の件

議案その1 地区会計監査委員委嘱の件 (333複合地区会則第25条第4項の規程に基づく)

委嘱予定者 L伊東 英樹 (東葛飾LC)

L長谷川美左男 (市川南LC)

全会一致により可決

議案その2 キャビネット会計の業務執行に伴う担保提出の件
担保提出は免除する。

全会一致により可決

議案その3 本年度の旅費規程・慶弔規程（案）の件
別紙の通り定める。

全会一致により可決

議案その4 333-C地区年次大会アワード規程（案）改正の件
別紙の通り定める。

全会一致により可決

議案その5 L C I Fへの協力依頼の件
累積M J F寄付の理解と協力を各クラブにお願いする。

全会一致により可決

議案その6 地区及びクラブシェアリング交付金申請書の件
「献眼及び角膜幹旋事業の継続力強化支援プロジェクト」の為L C I Fシェアリング
交付金を、別紙の通り申請する。

全会一致により可決

第6号議案 本年度地区予算書（案）審議の件

- I. 一般会計
- II. 青少年育成資金会計

全会一致により可決

第7号議案 地区委員長提出議案の件

公益社団法人千葉県アイバンク協会及び公益社団法人日本網膜色素変症協会（JRPS）に
対して行う支援については、継続事業として以下の通りとしたい。

議案7-1 公益財団法人千葉県アイバンク協会に対し行う献眼登録等の支援については、各クラ
ブの自主的な判断によりクラブ又は個人のアクティビティとして行う。

全会一致により可決

議案 7-2 公益社団法人日本網膜色素変性症協会（JRPS）に対しての各種支援は、各クラブの自主的な判断により、クラブ又は個人のアクティビティとして行う。
尚、この資金は、治療法研究開発促進のための研究論文募集資金に充当され、入賞論文 3 本計400万円の内、1 本100万円はライオンズ賞として研究者に授与されます。

全会一致により可決

議事録署名人 1 R-1 Z ザーン・チェアパーソン

L 田村 哲彦

議事録作成人 10R-1 Z ザーン・チェアパーソン

L 阿津 和雄

【会議資料の訂正・追加等】

P30 地区ガバナー提出議案 議案その1

(誤) 地区会計監査委員委嘱の件 (複合地区会則第23条第4項の規程に基づく)

(正) 地区会計監査委員委嘱の件 (複合地区会則第25条第4項の規程に基づく)

P44 地区ガバナー報告に追加

4. 元地区ガバナー・地区名誉顧問L藤原宏高(船橋中央LC所属)が2024年4月26日~29日にライオンズ公認講師プログラム研修(LCIP)を終了し、公認講師として認定されました。

P75 地区ガバナー公式訪問日程表

10Rの日程が変更になりました。

(変更前) 2024年10月27日(日)

(変更後) 2024年10月20日(日)

第106回国際大会報告書

(オーストラリア・メルボルン 2024年6月21日～6月25日)



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2024-25-C-01>

第106回国際大会報告書

(オーストラリア・メルボルン 2024年6月23日-6月25日)

I. 国際役員を選出

6月23-25日にMCEC（メルボルン・コンベンション&エキシビション・センター）で行われた投票で、本年度国際役員が別紙1の通り選出されました。

国際会長には、ブラジルのFabrício Oliveira、国際第一副会長には、インドのA. P. Singh、国際第二副会長には、アメリカ・コネチカット州のMark・S・Lyon、国際第三副会長には、ケニアのManoj Shah元国際理事が選ばれました。東洋東南アジア地域からの国際理事として、中国からDong Zhao元地区ガバナー（387地区 Shenyang Shangruo LC）、マレーシアからDato' Yeow Wah Chin元議会議長（308-B1地区 Kuala Lumpur Central LC）、韓国からEa-Up Kim元地区ガバナー（354-H地区 Goyang LC）が選出されました。

II. 2024-2025年度国際理事会委員会

日本からの国際役員の所属委員会は次の通りです。

城阪 勝喜 国際理事	監査委員会（委員長） 財務及び本部運営委員会（副委員長）
濱野 雅司 国際理事	奉仕事業委員会（副委員長）

III. LCIF国際役員

山田 實紘 元国際会長	LCIF 理事（第5会則地域 3年任期の3年目） 開発委員会（委員長）
鶴嶋 浩二 元国際理事	LCIF 理事（第5会則地域 3年任期の1年目） プログラム委員会（委員）

IV. 国際会則の改正

6月23-25日にMCEC（メルボルン・コンベンション&エキシビション・センター）で行われた投票により、上程された改正案はすべて可決されました。（別紙2参照）

V. 新国際会長の就任

閉会式でファブリシオ・オリベイラ新国際会長の就任セレモニーが行われました。新国際会長の略歴は別紙3の通りです。カラー顔写真は国際協会HP（日本語版）からダウンロードしてください。

国際会長【写真】ダウンロード先：

https://www.lionsclubs.org/sites/default/files/inline-images/Oliveira_Fabricio_2024.jpg



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2024-25-C-01>

引き続き国際テーマは『ウィ・サーブ』、

ファブリシオ国際会長は個人のテーマを「^{そくせき}足跡をしるす (Make Your Mark)」としています。

詳しくは次の国際協会ウェブサイト（日本語版）URL からダウンロードしてください。

LCI 公式ウェブサイト国際会長テーマ掲載ページ：

<https://www.lionsclubs.org/ja/discover-our-clubs/presidential-theme>

ビデオ掲載先：

<https://www.youtube.com/watch?v=HmRHWq3dRDI&t=7s>

VI. 国際コンテスト

インターナショナル・パレードについて日本からの入賞は次の通りです。

<国際パレード>

第1部門コンテスト（代表団のグループ）

精度デモンストレーション・ユニット

1位： 日本 ZEN 燃（Japanese Dance/Culture Team in Melbourne）

VII. 表彰

(1). ライオンズ人道主義大賞（Humanitarian Award）

エイズ大流行の最前線であるサハラ以南のアフリカにおいて、地域の草の根組織と協力し、エイズ撲滅に向けて、人々の健康と人権を守るための活動を進めている「スティーブン・ルイス財団」が授賞しました。共同創設者であるイラナ・ランズバーグ＝ルイス氏が登壇され、エイズの被害を受けた女性たちを支援するのにもまた現地の女性たちであり、特に高齢女性への支援をどこの組織も行っていなかったことをきっかけに草の根組織の女性リーダーへの支援や、祖母たちの国境を越えた提携である『グランドマザー・トゥ・グランドマザーキャンペーン』についてお話しされました。スピーチ後には会場の祖母・祖父であるメンバーを讃えられました。今後の支援に25万ドルが贈呈されました。「スティーブン・ルイス財団」については以下をご参照下さい。

別紙4：国際協会公式ウェブサイト掲載ページ

スティーブン・ルイス財団（英語）

<https://stephenlewisfoundation.org/>



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2024-25-C-01>

(2). 国際平和ポスター・コンテスト

2023-24年度国際平和ポスター・コンテスト大賞は、ファンジン・シさん（陝西ダタンライオンズクラブスポンサー・中国）、日本からの優秀賞受賞は池邊 刀俐さん（東大阪大東暁ライオンズクラブ スポンサー）です。入賞作一覧は以下よりご欄いただけます。

<https://www.lionsclubs.org/ja/start-our-approach/youth/peace-poster/current-winners>



池邊さんの作品です。

(3). 国際作文コンテスト

視覚障がいのある青少年を対象とした2023-24年度国際作文コンテスト大賞は、イェトカ・ヤギズ・デミルタス君（イスタンブール・アルティネペ・ライオンズクラブスポンサー・トルコ）が受賞しました。

全文は以下 URL よりご覧いただけます。

https://cdn2.webdamdb.com/md_ELF0BpsWpq21UCQ9.jpg.pdf?v=1

大賞受賞者の二人は開会式で登壇し、国際会長よりトロフィーと賞金5000ドルが贈呈されました。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2024-25-C-01>

VIII. 初日総会 (6月23日)

初日総会はオーストラリア先住民であるアボリジニの演奏で幕を開け、歴代 PIP の紹介と続けました。その後、パティ・ヒル国際会長が登壇しご挨拶され、司会のシ ril とともに進行を担いました。

VIC 州議員ニック・スタイコス氏やメルボルン市副市長ニコラス・リース氏が登場し、大会開催の感謝の言葉とともに、ライオンズおよびレオの今後の活躍への期待と重要性を述べました。

また国際平和ポスターと作文コンテスト受賞者の紹介と盾および 5,000 米ドルの賞金の授与が行われました。

パティ・ヒル国際会長は、この1年間に主に取り組んできた環境保護や Mission1.5、また SNS を通じた活動の PR について VTR 紹介とともに語りました。インドの新婚カップルへの補助、イタリアで起きた洪水による森林壊滅を 500 本の植樹で支援し土壌浸食を防いでいること（その森は「メルビン・ジョーンズの森」と呼ばれている）、香港マカオの林業の学び支援、等々・・・そして、多様性に必要な新たな知識の習得と、ひとりひとりの奉仕への意識改革、リーダーシップとメンバーシップの育成が重要だと説きました。

その後、指名委員会委員長アレクサンダー元国際会長より最終報告として昨日のビジネスセッションの報告と、選挙についての説明が行われ、2024-25 年度国際第 3 副会長候補者 2 名（L. マノージ・シャー、L. アレクシス・ビンセント・ゴメス）の選挙演説およびインスタレーションが行われました。

最後は 194 カ国の国旗掲揚で幕を閉じました。

IX. 二日目総会 (6月24日)

二日目総会ではオーストラリアの動物学者であるマイク・ハンフリー氏がコアラやカンガルーなどオーストラリア固有種の動物と共に登壇し、パティ国際会長の重点分野である環境保全への取り組みを訴えました。

パティ国際会長のスピーチとハッシュタグを使った SNS への投稿の呼びかけの後、会場でバンド演奏を行っている方が入会を果たした報告と、35 年間にわたり国際大会において手話通訳に携わっているイーディ・ミスケル氏が紹介されました。

その後 LCIF 理事会・役員、LCI 国際役員が紹介されました。

基調講演では 4 名のパネリストが登壇しました。

- ・クリス・ハドフィールド氏 (宇宙飛行士)
- ・アレクサンドラ・クストー氏 (探検家 & 海洋保全活動家)
- ・マリタ・チェン氏 (テクノロジー起業家)
- ・ホリー・ランサム氏 (世界的講演者)



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2024-25-C-01>

オーストラリアで影響力の最も大きい女性 100 人の 1 人にも選ばれているホリー・ランサム氏が司会を担当し、ビジョンを持ったリーダーシップとその実現について、世界を変えていくことについて等、対談形式で基調講演が行われました。

各パネリストについては別紙 5 をご覧ください。

基調講演の後、ブライアン・シーハン LCIF 理事長の年次報告と表彰などが行われました。2023-24 年度における LCIF への寄付額は当初の発表では 6830 万ドルでしたが、FACEBOOK でのライブ配信や、会場のスクリーンに QR コードを映し出し、リアルタイムで現在の寄付額が数回にわたり紹介されたことが功を奏し、最終的には 7500 万ドルとなり、拡大目標である 7000 万ドルを上回る結果となりました。

日本からは 10 万ドル以上の寄付者として川島正行元国際理事、ダイヤモンド理事長賞（地区として 100 万ドル以上）として 334-A 地区が表彰され、代表として 334-A 木野村好己ガバナーと、334-A 原口秀樹 LCIF 委員会委員長（MD334LCIF 副コーディネーター）が登壇されました。

LCIF 事業紹介ではまず小児がんへの取り組みの紹介が行われ、テキサス小児がんセンターの専門医であり、LCIF とパートナーシップを結んでいるグローバルホープの理事をつとめ、本人もライオンズクラブメンバーである、ジョセフ・ルベガ医師が登壇し、アフリカでの小児がんへの取り組みの紹介と支援の呼びかけを行いました。

LCIF より支援を受け小児がんを克服した、ウガンダのデザイア・ナマージさんが登壇し、昨年度よりがん患者とその家族の心の健康のための支援を自分でも行っていることと、開業医になり患者の命と生活の支えになりたいと目標を語りました。

続いて UNODC (国連薬物・犯罪事務所) とのパートナーシップ 10 周年を記念し、ガーダ・ファトヒー・ワーリー事務総長からのビデオレターが上映され、薬物乱用防止と若者への支援についてお話しされました。

なお、ワーリー事務総長は 2022 年に来日された際に外務省にて意見交換会を行い、日本ライオンズ村木理事長（当時）が日本のライオンズを代表して参加しました。詳しくは以下のライオン誌記事をご覧ください。

<https://www.thelion-mag.jp/2209ne01>

パートナーシップ団体として、食料支援を行っている World Food Programme と、サイトフォーキッズプログラムを通じ子供たちへの支援を行っている J&J が紹介されました。

今年度 LCIF では災害支援として 1,200 万ドル以上の交付金が支給されたことと、世界各地での災害支援の取り組みが紹介され、能登半島沖地震における日本のライオンズ・レオの支援活動についても紹介されました。テキサスの山火事の支援の紹介では会場に炎の映像が投影され、参加者の視覚に災害の悲惨さを訴えました。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2024-25-C-01>

その他 LCIF の重点目標の報告として、来年はヘレンケラーの呼びかけより 100 周年であることや、糖尿病支援への交付金の金額が報告されました。

国連とのパートナーシップを担当しているアル・ブランデル元国際会長より、国連ライオンズデーのハイライトと国連の設立以来のパートナーシップについて紹介され、パートナーシップ強化の感謝を込めてパティ国際会長へ国連旗が手渡され、アドボカシープログラムである、各団体とのパートナーシップの強化が呼びかけられました。

その後追悼式、人道大賞受賞者の紹介とスピーチが行われました。

X. 最終日総会 (6 月 25 日)

パティ国際会長の開会宣言の後、決議委員会委員長であるアル・ブランデル元国際会長より報告が行われました。

続いてミッション 1.5 初年度の取り組みとして、国際協会執行役員からなる特別委員会より 1 年の報告と、2027 年までの目標の達成を目指し、力強いメッセージ送られました。

ミッション 1.5 関連のアワード受賞者が会場のスクリーンにて発表され、日本からは鶴嶋浩二元国際理事が、最も多くの会員をスポンサーした 150 人に送られる、ミッション 1.5 会員ロックスター賞を受賞されました。

決議事項の報告、投票総数と選挙結果の発表が行われました。

新会長紹介ビデオが上映されたのち国際会長交代セレモニーが行われ、ファブリシオ新会長が誕生しました。演説の中でファブリシオ国際会長は自身のテーマについて 4 項目を挙げて説明され、ライオンズクラブはただのボランティアではなく、奉仕の起業家であると呼びかけました。

新会長の演説の後、投票で選ばれた新執行役員と国際理事が発表され、そのうち執行役員が登壇しました。

最後にエレクトセレモニーが行われ、第 106 回メルボルン国際大会は幕を閉じました。

XI. 参加代議員及び補欠数(6 月 25 日閉会式発表)

6 月 25 日閉会式時点の発表では、全世界からの投票代議員数は 3007 名でした。日本からの代議員数等は、秋季国際理事会にて公式に発表される予定です。

XII. メルボルン国際大会の大会登録者数

日本ライオンズ国際大会委員会に寄せられた報告によると、日本からの登録者数は 6 月 10 日時点で 1,116 名でした。

6/23 開催 地区の管理セミナーにてマーズ事務局長より、日本の登録者数はアメリカについて 2 位であり、その差はわずか 10 名ほどであったと発表がありました。

全世界からの登録数、日本からの登録数について、公式な登録数は例年秋季国際理事会にて発表される予定です。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2024-25-C-01>

XIII. 各種セミナー・会議

今大会では日本語セミナーは地区の管理セミナーのみとなり、各日総会およびビジネスセッション、24日に行われたミッション1.5セミナーでは同時通訳が提供されました。

日本を含む英語圏以外の会員は各自で自動翻訳アプリなどを用意し、セミナーへ臨みました。

(1) 指名委員会会議 (6月21日)

委員長であるダグラス元国際会長の司会で進められました。国際協会が指名する候補者が会則地域ごとにステージへ登壇し、投票用紙に名前を掲載する順番を決めるくじを引きました。

(2) ビジネス・セッション (6月22日)

パティ国際会長のあいさつの後、議事規則委員会より議事規則についての説明があり、タイムキーパーの紹介等が行われました。

その後代議員投票について日時や場所、ルールの説明があり、指名委員会より予備報告として、国際第一副会長、国際第二副会長の指名が行われました。

各国際理事候補者の指名が行われ、各理事候補者及び推薦者1名が登壇、スピーチを行いました。OSEALからは3名の候補者とその支援者が登壇し、合わせて2分以内でスピーチを行いました。

(3) 地区の管理-地区ガバナーエレクト対象の特別プログラム (6月23日)

DGE およびそのチームのためのセミナーが開催されました。

DGE35名のうち、31名の出席がありました。

事前に参加の呼びかけが行われていたこともあり会場は超満員となり、急遽席が追加されての開催となりました。

OSEAL 調整事務局・マーズ事務局長が司会を担当され、山田元国際会長・鶴嶋国際理事・城阪国際理事・濱野国際理事・鈴木 LCIF 理事・小川・松岡両 GAT エリアリーダー・識名次期 GAT リーダー、濱島グループリーダーが登壇されました。

登壇者の紹介、セミナーの目的の説明の後、山田元国際会長からの DGE への激励や、国際理事より直前に行われたメルボルン国際理事会での決議についての説明と報告が行われました。

主な理事会での決議報告として、

- ・国際大会開催地の報告 (2026年香港・2030年テキサス州サンアントニオ・2031年ヘルシンキ)
- ・国際理事会の構成の変更について
- ・国際理事会におけるコンプライアンス研修の強化
- ・グローバル奉仕目標の追加と変更について

などが報告されました。

続いてミッション1.5への取り組みの呼びかけが行われ、日本での支部クラブのエクステンションの成果が認められ、次年度より支部エクステンションプログラムが国際協会に設置されることが



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2024-25-C-01>

報告されました。

次年度 GAT の組織について、副エリアリーダーの設置についての説明等があり、第2副地区ガバナー研修グループリーダーが新設されることや、地区ガバナー予算や会員増強補助金について説明が行われました。

今後の予定として、

7/22-23 LCIF コーディネーター研修会 (名古屋)

7/30-31 ミッション1.5 サミット (名古屋) AP シン国際第 I 副会長来日

への参加が呼びかけられました。

その他発表された予定は以下の通りです。(日程は現時点での情報です)

11/25-28 ファブリシオ・オリベイラ国際会長公式訪問 (大阪)

10/7-10/9 第2副地区ガバナー研修会

12/1-12/3 第1副地区ガバナー研修会 (2月にも開催予定)

11/1-4 LCIP 研修会 (バンコク)

2025年2月 FDI 研修会 (ベトナム)

セミナー後には次期議長予定者セミナーが行われ、次期議長のうち7名が参加しました。

(4)多様性のためにあなたの声を活かそう (6月23日)

アドボカシーについてのセミナーとなり、ダグラス元国際会長の司会で進行され、パネリストとしてマリー・カニング国際理事、サンギータ・シャディア元国際理事をはじめ、4名の国際理事・元国際理事が登壇されました。

まずはダグラス元国際会長がライオンズ国際協会におけるアドボカシーの定義とその重要性について説明され、パネリストより具体的な取り組みについてお話しされました。

スイスのロバート・レテビー元国際理事による、ジュネーブでライオンズが国連とのイベントに関わった経験を初め、他組織とのパートナーシップ・コラボレーションを通じて奉仕の可能性を広げることや、SNSを通じてライオンズの奉仕を世界の人へ知ってもらうマーケティング・ブランディングの重要性が説明され、ミッション1.5におけるアドボカシーの重要性についても強調されました。

(5)ミッション1.5 多様性を通じて会員を拡大しよう (6月23日)

会員増加を目標に、多様性を資産として活用した経験談を SNS の活用事例とともに3名のパネラーが紹介しました。障害者向けのコーディネーターも務めるガバナーや、アルバニア人の言語問題をはらむ新メンバー、アフリカ初のクラブなど、まさに多様性の中でどのように会員獲得に向け尽力したかのお話が披露されました。若手パネラーの影響かテーマ性の問題か、セミナーに参加していたメンバーも比較的若い年齢層でした。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2-4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2024-25-C-01>

(6)ゾーンチェアパーソンセミナー (6月24日)

専門チーム4名が登壇し、ゾーンチェアパーソンの任期開始前からの活動準備の内容や心構えといった具体的な事例をPPTを用い説明を行いました。年間計画の立て方や、ガバナーやGATコーディネイターとの関係性、必要なデータの管理、そしていかにメンバーのモチベーションを持続し上げていくか、SNSの活用の勧めなど、多岐に渡る役割について充実の内容を紹介しました。

現在国際協会は、ゾーンチェアパーソンなど、各役職の学習に必要なガイドやツール、リソースをまとめたWebページを立ち上げており、活動に有効なすべてのリソースが集められていると、その活用を勧めています。

会員リソースセンター | ライオンズクラブ国際協会 (lionsclubs.org)

今回のこのプレゼンテーション資料も、8月中旬から下旬の公開に向け、各国言語に翻訳される予定だと話していました。1年中使用できるツールになるため、ネットで探すようにと案内していました。ガイドとなる「e-Book」も変化にあわせ更新していくので、常に最新を確認し活用するようにと案内していました。

参加者は高齢の方が多く見受けられましたが、登壇者の問いかけに積極的に応えるなど前向きな姿が見られました。

(7)目標達成のため障害を取り除こう (ミッション1.5関係) (6月24日)

ネパールで100以上のクラブをエクステンションした実績を持つバルクリシュナ国際理事と、マレーシアのエヴァ・ウォン元地区ガバナーが登壇され、貧困など地域における困難を乗り越え地域の自治体との提携を行い会員を増やしたことや、若い会員と先輩会員のわだかまりの解消について、スマートフォンやSNSを駆使して若い会員や女性会員を増やし、入会後に活躍してもらった方法についてお話しされた他、参加者との質疑応答や、参加者からの成功体験の共有が行われ、2027年まで頑張ろう、と呼びかけが行われました。

(8)ソーシャルメディアとマーケティング活用セミナー (6月24日)

クラブのマーケティング委員長へ向けたセミナーで、本部マーケティング部とリーダーシップ開発部により進行されました。資料や交付金などリソースの紹介や、イベントの案内作成についても実例を示し詳しく紹介されました。

(9)ミッション1.5 挑戦を受け入れよう (6月24日)

サンジブ・アフジャ事務総長を進行役に、ミッション1.5のリーダーであるパティ・ヒル国際会長、ファブリシオ・オリベイラ第一副会長 (CA3, 8 担当)、A. P. シン第二副会長 (CA4, 5, 6 担当)、マーク・S・ライオン第三副会長 (CA1, 2, 7 担当) の4名のリーダーが登壇しました。

パティ・ヒル国際会長から、すでに掲げられているミッション1.5に取り組む理由、目的、メリットなど、セミナー参加のメンバーたちへと熱く伝えられました。

ミッション1.5 | ライオンズクラブ国際協会 (lionsclubs.org)



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2024-25-C-01>

すべての地区で必ず1つのクラブを作り、1つのクラブで1人の新会員に入会してもらい、そのためには広告ツールであるYouTubeも活用し、できるだけ多くのクラブにこの取り組みを伝えるようにと話されました。それは奉仕を広げるため、増大するニーズを満たし、多くの人々へのサービス提供に応えるために必要なことだと語りました。

他の3人のリーダーたちは加えて、ミッション1.5成功へ向けてのわれわれ各自の意識の持ち方や、これからどのように行動すれば良いかの指針を自身の体験談と重ね訴えました。セミナーや例会開催では会員が増えることはなく、実際に声がけすることの重要性とそのために必要となる資料やトレーニングツール、またアワードの用意があることも紹介されました。

「一人で行動しても一緒に成長することはできない」。リーダーを支援し、鼓舞し緊密に協力し、また新しい戦略と分析、インセンティブを見つけ、前向きに行動するために必要な行動はすべて試みようと言いました。

セミナー内で上がった数字は以下の通りです。

【会員更新】 ※2023.5.31. から 2024.5.31. 時点の比較

<u>129,550</u> 人	既存クラブへの新会員数 (22-23年度から6%増加)
<u>37</u> %	45歳未満の新会員率 (22-23年度から6%減少)
<u>1,726</u> クラブ	新クラブ数 (22-23年度から33%増加)
<u>40,950</u> 人	純会員数増加 (22-23年度から55%増加)

【2024-2025 目標】 世界目標 ※目標期間は7/1~6/30まで

<u>248,742</u> 人	新会員数目標
<u>2,644</u> クラブ	新クラブ数目標
<u>61,956</u> 人	純会員増加目標

(10)ニューヴォイス！ (6月24日)

会場に円卓が用意され、ディスカッション形式で行われました。テーブルごとに異なる議題が与えられ、ディスカッションの結果が各テーブルの代表者より発表されました。

ディスカッションと発表を通じて、新会員のみではなくすべての会員1人1人が新しい声を持っており、声をあげる必要があること、誰かの新しい声になることができること、すべての人の新しい声に耳を傾ける必要があること、この部屋の中でもたくさんの新しい声が上がったことへの喜びが伝えられました。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2024-25-C-01>

XIV. 今後の国際大会の日程と開催地（地区の管理セミナー内での発表）

<第107回>	2025年7月4～8日	メキシコ・メキシコシティ
<第108回>	2026年	香港
<第109回>	2027年7月2～6日	米国ワシントンDC
<第110回>	2028年6月23～27日	シンガポール
<第111回>	2029年6月29～7月3日	米国ミネアポリス
<第112回>	2030年	米国テキサス州サンアントニオ
<第113回>	2031年	フィンランド・ヘルシンキ

2024年6月28日

一般社団法人 日本ライオンズ

2 0 2 4 国 際 大 会 選 出 役 員

国際会長	ファブリシオ オリベイラ Fabrício Oliveira (ブラジル)
国際第一副会長	エー ピー シン A. P. Singh (インド)
国際第二副会長	マーク ライオン Mark S. Lyon (米国・コネチカット)
国際第三副会長	Dr. マノージ シャー Dr. Manoj Shah (ケニア)
国 際 理 事	
アメリカ合衆国およびその領域、 バーミューダおよびバハマ (5名改選)	Robert "Ski" Marcinkowski (米国・アラスカ) Bert A. Nelson (米国・ミネソタ) Debbie Cantrell (米国・ミズーリ) David W. Wineman (米国・ミシガン) Chris Carlone (米国・ルイジアナ)
南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ およびカリブ海諸島(1名改選)	Luis Caro Chong (ペルー)
ヨーロッパ(3名改選)	Lorena Hus (スロベニア) Guy-Bernard Brami (フランス) Dr. Kari Brewi (オーストリア)
インド、南アジア、アフリカおよび中東 (4名改選)	Magesh Shanmugan (インド) Raj Kumar Agarwal (インド) Ramesh Prajapati (インド) Pankaj Mehta (インド)
東洋東南アジア(3名改選)	Dong Zhao (中国本土) Dato' Yeow Wah Chin (マレーシア) Ea -Up Kim (韓国)
オーストラリア、ニュージーランド、パプア・ ニューギニア、インドネシアおよび南太平 洋諸島(1名改正)	Graeme Wilson (ニュージーランド)
アフリカ(1名改選)	Bridget Adetope Tychus (ナイジェリア)

以上



可決

公式通達

2024年国際大会（オーストラリア・メルボルン）

以下の国際会則及び付則改正案が
2024年国際大会において提出され、代議員による票決の対象となります。

第1項： 会員が第二副地区ガバナー職への就任資格を得るために使用できる地区キャビネットの役職を拡大し、グローバル・アクション・チームおよび地区 LCIF コーディネーターの役職を含める決議案。（付則に対するこの改正案の可決には過半数の賛成票が必要）

下記の改正案を承認すべきか？

国際付則第9条6項(c)(3)(b)を全文削除し、以下と差し替える。

ゾーン・チェアパーソン、リジョン・チェアパーソン、地区グローバル・エクステンション・チーム・コーディネーター、地区グローバル指導力育成チーム・コーディネーター、地区グローバル会員増強チーム・コーディネーター、地区グローバル奉仕チーム・コーディネーター、地区 LCIF コーディネーター、あるいはキャビネット幹事及び（又は）会計として全期又は過半の期間務めた者でなければならない。

第2項： 地区再編成に先立ち、特定の基準を満たしている準地区の承認を要件とする決議案。（付則に対するこの改正案の可決には過半数の賛成票が必要）

下記の改正案を承認すべきか？

国際付則第8条3項第2文を全文削除し、以下と差し替える。

一つまたはそれ以上の準地区の整理統合を希望するすべての複合地区は、その影響を受ける会員数1,000人以上の地区、または会員数1,000人未満で過去2年間の平均純増率が1%の地区、および複合地区の大会において、過半数の票により承認された地区再編成案を国際理事会に提出する。

ファブリシオ・オリベイラ 国際会長

ファブリシオ・オリベイラ（ブラジル・パライバ州カトレドホシャ）は、2024年6月21日から6月25日にかけてオーストラリア・メルボルンで開催されたライオンズクラブ国際協会の第106回国際大会で、同協会の国際会長に選出された。

ファブリシオ国際会長は実業家で、ジェットウリオ・ヴァルガス財団（FGV）大学で経営管理学の修士号を取得、経営学の学位もある。

1985年にカトレドホシャ・ライオンズクラブに入会して以来、クラブ会長、ゾーン・チェアパーソン、リジョン・チェアパーソン、地区ガバナー、協議会議長、国際理事など、数々の役職を歴任してきた。さらに、地区 LCIF 委員長、視力ファースト委員長、指導力育成委員長、複合地区 DGE セミナー・コーディネーター、地区ライオンズ財団理事長を務めたほか、地区ガバナーエレクト・セミナーのグループリーダーを2回務めている。

国際協会への貢献が認められ、これまでに100%クラブ会長賞、エクステンション賞（9つの新ライオンズクラブを結成）、国際会長感謝状19回、パラダイム・アワード、リーダーシップ賞9回、国際会長賞14回、国際理事表彰アワード、さらには国際協会より会員に与えられる最高の荣誉である親善大使賞など、多くの賞を受賞。キー賞（30人の新ライオンズ会員の入会を支援）、エクステンション賞状（5つの新レオクラブのスポンサー）、グローバル・ビジョン・メダル（視力ファーストへの取り組み）、LCIF 援助の手アワードも受賞しており、累進メルビン・ジョーンズ・フェローでもある。

ライオンズでの活動以外にも専門分野や地域社会に関わるさまざまな団体で活躍しており、パライバ州商工局長官、いくつかの企業の経営協議会議長、全国小売業者連盟理事長、パライバ州小売業者連合会長、カトレドホシャ小売業会議所所長、エルミニア・エヴァンジェリスタ小児科病院の研究所を支援するマノエウ・ヴィットリアーノ・デ・フレタス財団理事長などを務めてきた。

同じくカトレドホシャ・ライオンズクラブの会員で、メルビン・ジョーンズ・フェローでもあるアマリレス夫人との間に三人の子どもがあり、孫娘も一人いる。

R - 2/24